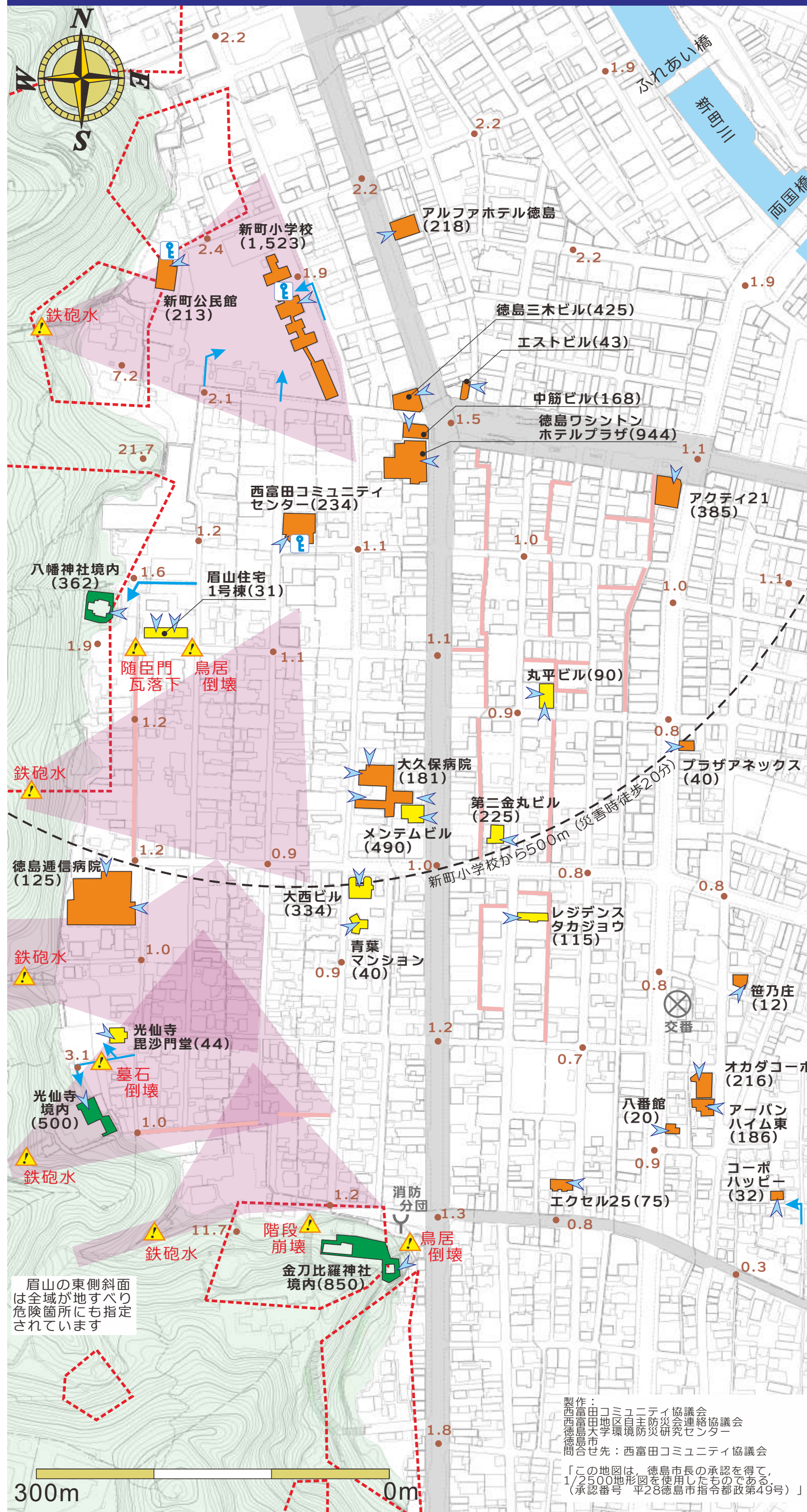


西富田地区 地震・津波避難支援マップ

(地震・津波災害+土砂災害)

～目指せ 逃げ遅れゼロ!～

平成28(2016)年2月



地震・津波避難支援マップ

■地震・津波避難支援マップ

この地図は、南海トラフ巨大地震で想定されている大津波に対して、安全で迅速な避難方法を住民一人一人が考えられるように、必要な情報を西富田コミュニティ協議会、西富田地区自主防災会連絡協議会、徳島大学環境防災研究センター及び徳島市が協力してまとめたものです。

巨大災害では「その時、その場所で、その人にできる最善の行動をとる」ことが大事です。想定外の事態になっても慌てる事がないように、普段から様々な状況を想像して避難方法を考えておくことが、安全な避難行動に繋がります。

想定浸水域と浸水深は、『徳島市地震・津波防災マップ』(平成26年3月)をご覧ください。

■「徳島市指定津波避難ビル」と「津波避難協力ビル」

徳島市指定津波避難ビルは、①鉄筋コンクリート造等の堅牢な建物、②津波の基準水位以上の床標高を有する建物、③避難階へ自由に入ることができる建物、という3つの基準を満たす施設です。これらは、徳島市と所有者等の間で協定書を交わしているもので、安心して利用できます。徳島市緊急避難場所は高台です。

津波避難協力ビルは、西富田コミュニティ協議会が独自に所有者等から協力を得ているものです(徳島市は関与していません)。市指定津波避難ビルほどの堅牢性や夜間や祝日等の利用は保証されませんが、十分な高さがあるので、補助的な避難施設として利用できます。

津波避難施設では階段・廊下等の共有スペースを緊急的な避難場所として短時間使用します。各施設の収容人数(概数)は、マップ上の施設名称横の()に記しています。1㎡あたり1人で計算しています。

指定避難所を兼ねた津波避難施設(新町小学校と西富田コミュニティセンター)を除いて、**食料・毛布等の備蓄や宿泊設備はありません**。大津波警報・津波警報が解除され、周囲の安全が確認できたら、速やかに指定避難所へ移動して下さい。

地区内のかぎ保管庫のある主な建物



新町小学校(正面玄関横)



西富田コミュニティセンター(正面玄関横)

「かぎ保管庫」の扉は震度5強以上の揺れで自動的に解錠されます。中に収められている施設入口の鍵を利用することで、夜間・休日でも施設内に安全に避難できます。

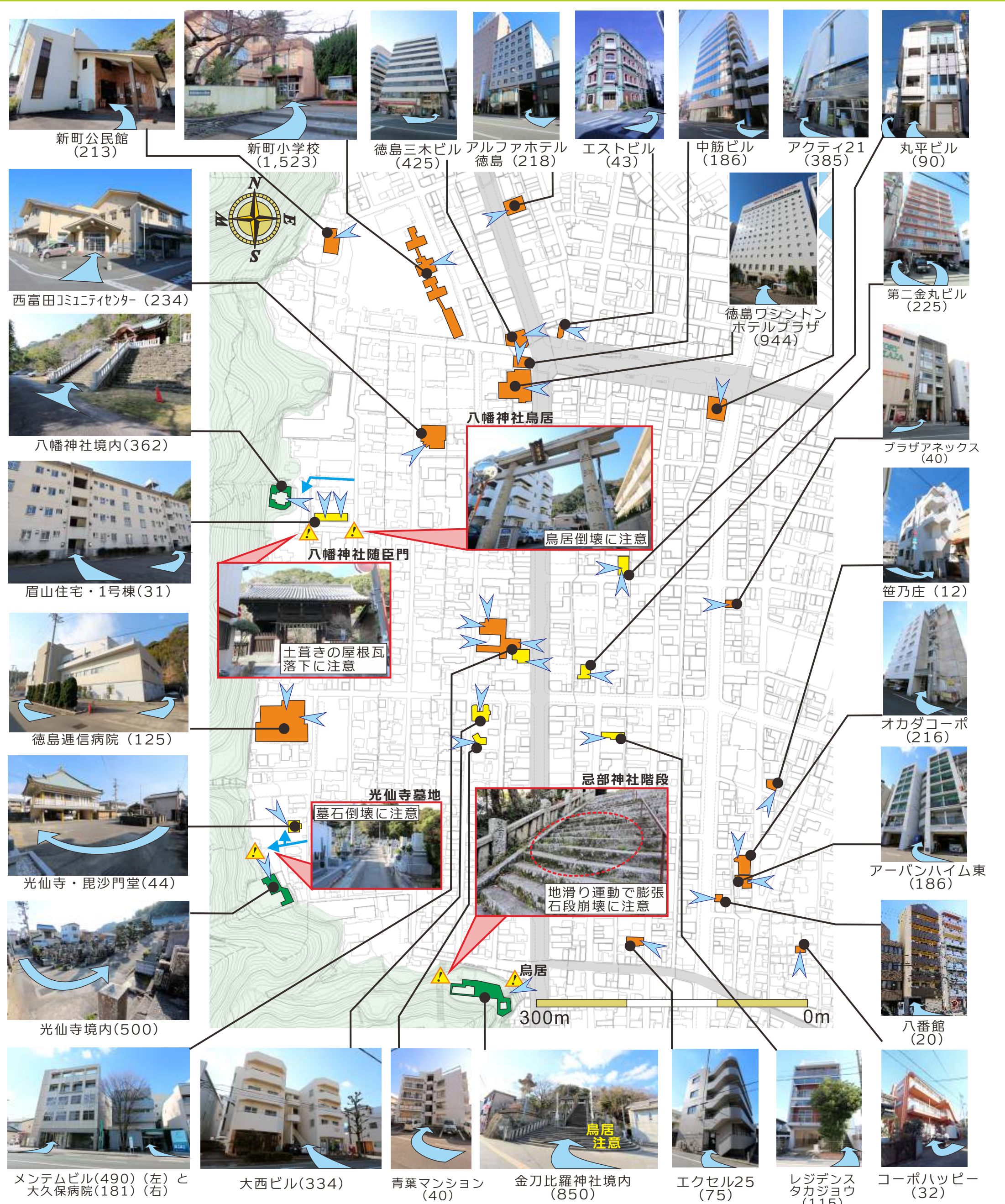
記号の説明

- 徳島市指定津波避難ビル(収容人数)
徳島市が所有者等と協定を結んでいる建物施設
- 徳島市緊急避難場所(収容人数)
徳島市が所有者等と協定を結んでいる高台
- 津波避難協力ビル(収容人数)
西富田コミュニティ協議会が独自に所有者等から協力を得ている施設施設
- かぎ保管庫
- 建物入口
- 幹線避難路
- 狭隘な道路
- 新町小学校から500mの範囲
地震災害時に新町小学校まで徒歩20分で到達できる距離の目安
- 危険箇所
- 急傾斜地
崩壊危険箇所
- 土石流
危険溪流(区域)
- 0.3 地盤高(海拔(m))

製作:
西富田コミュニティ協議会
西富田地区自主防災会連絡協議会
徳島大学環境防災研究センター
徳島市
問合せ先: 西富田コミュニティ協議会

「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2500地形図を使用したものである。(承認番号 平28徳島市指令都政第49号)」

西富田地区 地震・津波避難支援マップ — 津波避難施設と避難経路上の危険箇所 —



徳島市指定津波避難ビルと徳島市緊急避難場所
徳島市が所有者等と協定を結んだ津波避難施設(建物もしくは、高台)で、十分な高さが保証され、24時間いつでも利用可能です。



津波避難協力ビル
徳島市指定津波避難ビルを補うために、西富田コミュニティ協議会が独自に所有者等の協力を得ている津波避難施設です。市指定津波避難ビルほど堅牢でなかったり、利用可能な日時帯に制約がありますが、十分な高さはあります。市指定津波避難ビル等への避難が間に合わない時など、補助的な避難施設として利用して下さい。



施設入口



施設への進路

※施設名称横の()数字は、収容人数(概数)です。

西富田地区
地震・津波避難支援マップ
(平成28年2月)

問合せ先：
西富田コミュニティ協議会
電話：088-652-8547

我が家の避難マップ (地震・津波災害＋土砂災害)

■このマップの使い方 ～実際に歩いて確かめる～

『西富田地区 地震・津波避難支援マップ』を参考に、自宅から避難先(津波避難ビルや緊急避難場所)まで歩きます。障害物に注意しながらの避難は体力・精神力を消耗します。夜間や悪天候であればなおさらですので、避難先はいつもの半分の速さで、20分以内に到着できる所が理想です。避難経路は閉塞に備えて、幅広で見通しの良い道を選び、危険箇所を確認します。万が一に備えて複数の避難先と避難経路を考えておきます。避難先・避難経路が決まったら、自宅から避難先までの避難経路、注意事項等を地図に記入します。避難先や避難経路は季節や天候、時刻、工事等で様変わりする可能性があるので、時々確認しておく必要があります。



非常時持ち出し品

南海トラフ巨大地震が発生すると、東海地方から九州地方までの広い範囲で被害が発生するため救援が遅くなることが予想されます。また津波浸水等により、津波避難ビルや緊急避難場所から指定避難所への移動が困難になる可能性もあります。救援活動が始まるまでの数日間、自分や家族の命を守るために必要な非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

■非常用持ち出し品の一例

- ☐ 非常食と飲料水(1日分程度)
- ☐ 懐中電灯と予備の電池
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメットや軍手、防塵マスク
- ☐ 身分証明書のコピー
(免許証、保険証、マイナンバーカード等)
- ☐ 貴重品(現金など)
- ☐ 服用中の薬、お薬手帳のコピー、救急薬品
- ☐ 雨具
- ☐ 生活必需品・衛生用品
- ☐ 保温用アルミシート
- ☐ 携帯トイレ(ビニル袋)
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 救助要請用の鏡や笛、赤・黄等の目立つ色のタオル

避難情報と連絡手段

■避難先

- 第1避難先 ()
- 第2避難先 ()
- 第3避難先 ()
- 家族が離ればなれになったときの集合場所 ()

■連絡手段

- ☐ NTT災害用伝言ダイヤル(171)
- ☐ ()
- ☐ ()

■その他 忘備事項

予想される地震・津波災害

■南海トラフ巨大地震と津波

南海トラフ巨大地震では、地震発生から41分後に東沖洲マリンピア東端に津波の第1波が到着し、53分後に津波高さが最大(約5m)になると想定されています。西富田地区では最大3m程度の浸水が予想され、津波避難ビルや緊急避難場所等への避難が必要です。

■倒壊による避難路の閉塞

地震が発生すると、地域全体で地割れや地盤沈下、液状化が発生し、建物や電柱の倒壊、屋根瓦や看板等の落下の他、寺社では石段の崩壊や墓石、鳥居の倒壊が心配され、避難経路の閉塞が発生する可能性があります。閉塞が比較的起こりにくいと思われる避難経路をいくつか探しておく事が重要です。

■大雨と地震動による土砂災害

西富田地区は、急傾斜地崩壊危険箇所や土石流危険渓流(区域)、地滑り危険箇所等がある眉山に隣接しています。眉山及びその周辺では、地震の揺れによる落石やがけ崩れの他、地震前後に大雨がある場合には土石流の発生が心配されます。このような場合には、土砂災害危険箇所内の避難施設(新町小学校、新町公民館、八幡神社、徳島逓信病院、光仙寺、金刀比羅神社)への避難は注意が必要です。眉山近くにお住まいの場合は、最寄りだけでなく、離れた場所の避難先も検討しておく事が重要です。

記号の説明

- 徳島市指定津波避難ビル
- 徳島市指定緊急避難場所
- 津波避難協力ビル

製作：西富田コミュニティ協議会/西富田地区自主防災会連絡協議会/徳島大学環境防災研究センター/徳島市
問合せ先：西富田コミュニティ協議会

「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2500地形図を使用したものである。(承認番号 平28徳島市指令都政第49号)」



津波の想定浸水域・浸水深、家庭での防災対策、災害情報の入手先、避難時の持ち出し品等は『徳島市地震・津波防災マップ』(平成26年3月)に詳しく掲載されています。この冊子は徳島市役所危機管理課(庁舎7階)で入手できます。

300m 0m